

## 施設長の園評価について

- ・ 保育者は子ども一人一人の思いに寄り添い言葉かけをしたり反応したりして関わっている。丁寧な関わりの中で信頼関係を築き、自己肯定感を高めることができるよう努めている。
- ・ 理念、目標に向かって計画、反省、改善を行っている。(週、月、年) 改善の点について方法をより細かく発展させることができるように会議、研修を充実させたい。園の方針、保育の方法、各クラスの目標、姿勢、環境設定などを話し確認し、全員の認識の共有ができるよう努めている。
- ・ 自然に恵まれている場所なので、より積極的に自然や地域と関わり、発見する楽しみなどを体験し、興味をおこし考察する機会を作っている。教材や言葉かけ等でより強くなる方法を考えていきたい。
- ・ 防災訓練については職員一人一人が考え想定しマニュアルもふまえ、より最善な方法を探求し行っている。その為の施設改善は素早く行えるようにしていきたい。
- ・ これまで駐車場の距離や園庭の水はけの悪さについて意見が寄せられることがあるが、今の段階では新しく駐車場を確保したり、水はけ工事を行うことが困難である。理解、協力を求め、水はけの悪さについては送り迎えのルートに関して濡れない策を考えた。(シートを敷く、高さを高くする等)

園長 水野将之 令和6年6月